

ICCAE



news
No.2 2000.4.1

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成12年4月1日発行 第2巻 第1号(年2回発行)

発行/〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~iccae/index-j.html

農学国際教育協力研究センター 創設記念式の開催

センター長 教授 竹谷裕之

平成11年4月に設置された農学国際教育協力研究センターの創設記念式と記念講演会が、平成11年12月6日、学内外から150名以上の出席者を得て、名古屋大学シンポジオン・ホールにおいて盛大に催されました。

記念式は、松尾稔名古屋大学総長、センター長の挨拶に続いて、文部省学術国際局長から「途上国の農学領域の問

題を解決する人づくり支援への取り組みが強く求められており、本センターが農学領域の国際教育協力研究に関するナショナル・センターとして大いに発展する事が期待されている。」との祝辞(飯田和郎学術国際局国際企画課教育文化交流室長代読)を頂き、さらに、長堀金造日本学術会議第6部長・日本農学アカデミー副会長、中島行男国際協力事業団名古屋国際研修センター所長および二宮皓広島大学教育開発国際協力研究センター長から祝辞を頂いた後、国内外からの祝電が披露されました。記念講演会では、久馬一剛滋賀県立大学環境科学部教授(京都大学名誉教授、日本学術会議会員)から「アジアの農業と環境を考える」と題する講演を頂きました。土地資源の窮迫となお増え続けると予測される人口を養うためには、農業の集約化が必須であり、これがまた、環境悪化につながる危険性をはらんでいることや、持続性が高く、集約化に際し負荷の少ない水田農業における生産性の増強によって、食糧を確保しながら、畑作地帯における持続的農業の確立に向けて、さらなる努力が求められていることが話されました。

記念交歓会は、グリーン・サロン東山にて山下興亜副総長、センター長の挨拶、木村洋国際連合地域開発センター所長、神田真秋愛知県知事(岩田順治農業水産部技監代読)、並河鷹夫大学院生命農学研究科長の祝辞の後、野角計宏事務局長の発声で乾杯し、当センターの創設を祝いました。ステファニ・レナト名古屋NGOセンター理事長、佐藤光アジア保健研修所事務局長、小杉辰雄オイスカ中部日本研修センター所長、ブイチトルン豊田市国際交流協会事務局長などNGOのメンバーも交えた歓談の後、盛大に終わることができました。

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター創設記念式・記念講演会

